



Title	大阪府立健康科学センター（愛称：ゲンキープ大阪）
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 2002, 73, p. 14-15
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83540
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪府立健康科学センター

Osaka Medical Center for Health Science and Promotion

(愛称：ゲンキープ大阪)

健康づくりの拠点施設「大阪府立健康科学センター」(愛称:ゲンキープ大阪)が大阪市東成区に7月オープンしました。



○森ノ宮健康ゾーン整備事業

わが国は、国民の生活水準の向上や医療技術の進歩等により、世界一の長寿国となっていますが、がんや心臓病、脳卒中などに代表される生活習慣病については増加の傾向にあり、特に、大阪府は中高年における生活習慣病による死亡率が全国的に見て非常に高い状態にあります。

こうした現状を踏まえ、府民の健康指標を改善していくことが、本府の緊急かつ重要な行政課題であることから、健康づくりの拠点施設となる健康科学センターを整備し、これまで以上に、地域・職場・学校において、子どもからお年寄りまで、個人や集団に対する積極的な健康づくりを支援することとなったものです。

○健康科学センターが展開する4つの事業

森ノ宮健康ゾーンに生活習慣病の予防から治療に至る一貫した体制整備を図るための健康づくり施設として、当センターは、次の4つの事業を展開します。

① 科学的・実践的な健康づくり技法の開発研究

栄養・運動・休養・たばこ等の健康づくりに関する研究技法の開発を行い、評価の確立した効果的な健康づくりに関する技法を広く府民に普及する。

② 健康情報発信機能

(1) 展示コーナー

子どもから大人まで楽しみながら健康に関する知識が習得できるコーナーを設け、積極的な健康づくりへの動機づけを行う。

(2) 健康情報の発信

③健康づくりを推進する指導者の育成

④健康づくり活動の展開

市町村、職場、学校等で行われる各種健康づくり事業や、啓発活動等の健康関連イベントの支援、健康づくりの普及に取り組むボランティア活動への支援を行う。

○施設の概要

この施設は、延床面積が11,971.92㎡で、地上13階、地下1階からなっており、1～7階が当センターとなっています。8～13階は大阪府立成人病センターの研究所です。

1階は遊びながら学ぶフロア。体内に入ったような疑似体験ができるシアター「インターナルアドベンチャー」(44席)や、最新コンピューターやゲームなどで遊べる「健康ふしぎ発見広場」があり、健康な食生活やストレス、体の仕組みなどを学ぶことができます。



2階では、1日に数回「なるほど！健康クイズグランプリ」が開催され、44台のパソコン画面で3択クイズに挑戦できます。



3階は運動フロア。プールやフィットネススタジオ、マシンジムがあり、エアロバイクや筋力トレーニングがズラリと並び、採光のいい20mプールにはジャグジーも備えています。

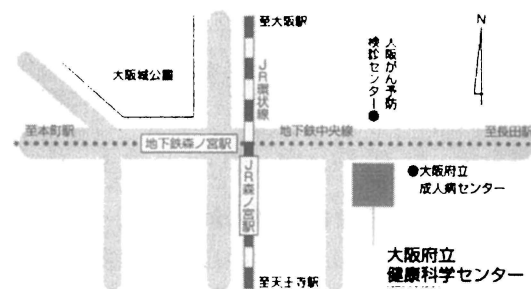
4・5階は健康度を測定するフロア。基本的な健康診断の健康度測定コースの外に、循環器予防などストレスや不眠、冷えなどの目的別コースを設置し、専門医が医学的な個人結果に基づく予防、改善のための適切なアドバイスをを行います。

*実施コース

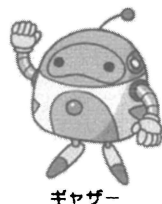
〈循環器予防コース〉〈スリムで健康コース〉〈心身リフレッシュコース〉〈糖尿病予防コース〉〈冷え・冷房病予防コース〉〈快適睡眠コース〉〈熟年健康コース〉〈長寿健康コース〉〈禁煙サポートコース〉〈健康度測定コース〉

各コースとも、完全予約制となっています。(TEL 06-6973-3535)

健康科学センターは、家族みんなが元気になる健康拠点を目指しています。



※最寄駅(JR森ノ宮駅・地下鉄森ノ宮駅)より東へ徒歩1分



ギャザー